

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	ハイリスク弓部・胸腹部・腹部大動脈瘤および大動脈解離に対する自作開窓型ステントグラフト術の安全性に関する検討		
1. 研究の目的と方法	この研究は、従来の手術を行うことがハイリスクと考えられる弓部大動脈瘤・胸腹部大動脈瘤の患者さんを対象に、自作開窓ステントグラフト術（ステントグラフト術とは、大動脈瘤に対するカテーテル（医療用の管）を用いた血管内治療のことです）の治療成果があるかどうかを調べることを目的としています。この弓部大動脈瘤・胸腹部大動脈瘤という病気についてはまだわからないことが多く、現在も多くの研究が行われています。この研究では、企業性のステントグラフトを患者さんの分岐血管の位置に合わせて穴を開け（自作開窓）、分岐血管の位置と開窓部分を合わせてステントグラフトを留置し、疾患の治療を行った患者さんを対象としています。これにより、手術ハイリスクの患者さんに対してより低侵襲（体への負担が少ない）に手術を行うことが可能となるため、より良い治療方法の向上に役立てることを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2024年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	弓部大動脈瘤もしくは胸腹部大動脈瘤の患者さんで、2014年7月1日～2022年10月31日の間に自作開窓ステントグラフト術を施行された18歳以上の患者さん。研究への参加を希望しない旨の申し出があった患者さんは除外とさせていただきます。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、併存疾患、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、内服薬、疾患情報、手術成績	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属柏病院 外科
		氏名	戸谷 直樹
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学附属柏病院 外科 村上 友梨	
(4) 共同で研究 を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	施設とその 責任者	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年10月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属柏病院 外科 研究責任者：教授 戸谷 直樹（とや なおき） 電話番号：04-7164-1111（内線3740） 対応時間：平日09：00～16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。